



仙幼すすきのこ

9/5 4園合同
お楽しみ会



箱根教育合言葉 ～箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく～

R.6.9.24 仙石原幼児学園

9月に入り暑い日が続いていましたが、朝晩は気温が下がり、ようやく過ごしやすい季節となり秋の気配を感じます。園庭でも夏野菜やひまわりから、コスモスやミズヒキなど秋の草花が咲き始めています。

夏の合同保育からクラス保育に戻り、3週間が過ぎ、ようやくクラスの生活が落ち着いてきました。10月の運動会を楽しみにしている姿もあり、年長さくら組は、毎日のように跳び箱、縄跳び、リレーと、友達を誘って遊ぶ姿が見られています。リレーでは、アンカーでバトンを渡された子どもが負けて悔しくて泣いている姿に担任が「がんばったね」「つぎはがんばろう。」と声をかけていました。次の日、同じような場面があり、アンカーだった子どもが負けて悔しくて泣いて走って行ってしまったら、前日悔し泣きをしていた子が追いかけて行って「〇〇がわるいんじゃないよ」「つぎはがんばろう。」って声をかける姿がありました。心温まる一場面でした。子どもは、日々成長しています。楽しいことはもちろん、悔しいこと、悲しいことも経験します。周りの大人が子どもの気持ちをどうとらえ、どう感じ、どう子どもに返していくのかがとても重要です。入園して半年。ご家庭でも、成長を感じる場面が多くみられると思います。「成長したよね」って大人が感じたこと、子どもにぜひ言葉にして伝えてあげてください。共に成長を喜び合うことで自己肯定感が高まっていくことに繋がっていきます。

令和6年度 園内研究の主題「自分の思いを豊かに表現し、互いの思いを伝え合う幼児の育成」

副主題～自然や人との関わりを通して豊かな心を育む援助のあり方～

今年度は主題を目指していくためにいろいろな活動計画を立てています。その一つとして、ビジターセンターのLeaveNoTrace トレーナーの築紫さんに年間を通して子ども、保護者、職員と園周辺および箱根の自然に触れる活動を取り入れることにしました。今年度3回目の自然観察を3,4歳児13日に5歳児20日に行いました。自然観察では約束がいくつかありました。①「やだ」「あるけない」などネガティブなワードはいわない。②自然に咲いている生き物、草花は見ても良いけどとらない。(落ちているものはOK) ③五感で感じる。④蜂がきたら動かない。コースは、3,4歳児と5歳児は、別でしたがシカのレストラン(あおき)シカの足跡、ヒノキの実、サンショウ、しそ、むかごなど子どもたちは草に触ったり、なめてみたり、においをかいだり草花とたくさん遊び、たくさん学びがありました。年長児は、むかごを持ち帰り、給食室で温めて給食と一緒に頂きました。体力もつき、ネガティブワードも聞こえず、楽しみながら五感で秋を感じる事ができたと思います。このように自然や人との関わりの中で実体験を通して、自分の感じたこと考えたことをもっと表現できるようになってほしいと思います。

13日の夕方は、職員対象の自然観察の研修をしました。園の周りのアジサイの葉、草笛、むかごのみを取ったり、触ったり、味わったり五感を感じながらの観察会でした。先生からは、草花は名前だけを知ることが大事ではなく、「ふわふわしている葉っぱ」「にがいね」などの5感を通して感じたことが心に蓄積してその植物全体を覚えていくことが大切であると教えて頂きました。また、「大人の傍観者をなくすこと。大人が触らないと子どももさわらない。大人が見本となって。」「失敗が大事。失敗の繰り返しをして自分で立ち直ることができるようになる。」という話もありました。これから秋が深まっていきます。親子で近くに散歩やビジターセンターに行き、子どもたちと一緒に、大人がまず自然を楽しみ、共に五感で感じて見てください。

<健民祭> 仙石原地域の健民祭が行なわれます。

日時 10月6日(日) 9時50分集合

場所 星槎箱根キャンパスグラウンド 対象 3,4,5歳児親子

※健民祭のプログラム2番が幼児学園の演技になっています。親子で行える競技を考えています。自由参加とします。参加できる方は、職員室に声をかけてください。

<保育時間変更のお知らせ> 10月21日(月)は、ICT化に伴う研修会があり全園児14:30分降園のご協力をお願いします。

祖父母交流会

9月18日に祖父母交流会があり、24名の祖父母の方が参加し、子どもたちとゲーム遊びや、好きな遊びを一緒にしていただきました。子どもたちも終始笑顔で楽しいひと時でした。ご参加いただきありがとうございました。

